

平成20年度第2回米子市図書館協議会議事録

平成21年3月26日（木）午前9時00分～
米子市バス車中（岡山県立図書館視察道中）

○ 開 会	
齊下館長	本日は、お忙しい中ご参加ありがとうございます。先回の図書館協議会で要望のありました図書館視察ということで、近年新築オープンした岡山県立図書館を視察したいと思います。よろしく願いいたします。
大原会長	委員の皆さん、本日はよろしく願いいたします。来年度はいよいよ伯耆の国文化創造計画が具体的に動き出すことになるのではないかと思いますので、十分参考にしていただきたいと思います。
渡邊副会長	今日は日本一の岡山県立図書館に視察ということで大変楽しみにしています。視察の成果を市立図書館に何か反映することができたらと思います。よろしく願いいたします。
渡邊副会長	<p><参加者自己紹介></p> <p>提案ですが、本日の協議会は県立図書館の視察後、現地の会議室をお借りして開催することとなっていますが、視察の時間を少しでも多く確保するため道中の時間を活用して協議出来たらと思いますがいかがでしょうか。</p> <p>（全員了承）</p>
○ 協 議	
大原会長 齊下館長	では、協議事項について説明をお願いします。 （資料を基に20年度の事業報告と来年度の運営等について説明）
大原会長	<p>決算については、最終的なものが5月頃になろうかと思います。</p> <p>予算については、昨年度との比較がわかるものを次回から用意していただきたいと思います。</p> <p>来年度は図書資料費が19,372千円ということで、昨年よりも増額となっています。今年度渡邊副会長と陳情を行い、市長・副市長とも面談させていただいたことが反映されているようでうれしく思います。</p> <p>伯耆の国文化創造計画については21年度に基本設計の提案があると聞いていますが。</p>
齊下館長 大原会長	<p>そのようになっています。</p> <p>市立図書館の体制を他市並みに引き上げ、財政状況によらずわれわれが理想の図書館像を描かなければなりません。</p>
大原委員	今年度は専任の館長の設置によりきめ細かな対応がなされていると思います。ただ課題もあります。図書の選書については専門性の高いもの、例えば今回ノーベル賞を受賞した先生方の著書などはなかなか整備してもらえていないなど、専門性の不足という面が見られます。さまざまな要望等にこたえられる体制作りが必要ではないかと思います。
齊下館長	必要と思われる書名等リクエストしていただければ、選書の対象として検討いたしますので、リクエストをお願いしたいと思います。
大原会長	そのほかにありませんか。では、協議については終わりとします。視察後に意見交換を行いたいと思います。

○ その他

【視察後の感想】

- ・児童の読書環境が整備されていた。専用のトイレまでも整備されていた点がとてもすばらしいと思った。
- ・蔵書の種類がすばらしい。やはり収容力が大きく違う。
- ・敷地面積、予算とも約10倍。そのまま米子に持ち込むことはできないが大いに参考になった。
- ・岡山市内には市立図書館が8館あるが、県立整備後、入館者数等は減少傾向とのこと。
- ・メディア資料が充実。今後郷土資料等をメディア資料（CD・DVD等）として残していくことが重要になってくる。
- ・資料の保存や市町村図書館の支援を主とする県立と、市立図書館との位置づけの違いも研究が必要。
- ・もっと知の拠点として充実を図る必要がある。
- ・図書館というのは憩いの場所としてのゆとりのスペースの役割もある。
- ・市民が情報を得るだけでなく、情報を提供する場ともなりうる。

など

大原会長

本日の視察は大変有意義だったと思います。今後の市立図書館がよりよい方向に向かいますよう、委員の皆さんには今日の成果を市民に広げていただきたいと思います。本日は長時間、お疲れ様でした。